

# 災害広報だより

新居浜警察署

## 災害に対するご家庭での備えはお済みですか？

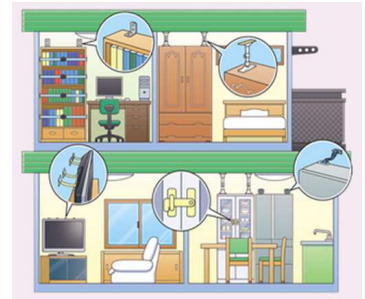
来たるべき災害に備え、ご家庭で取り組むべき主な対策をご紹介します。

### 家具の置き方は工夫しています

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしました。

大地震が発生した時には、「家具が必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。

- ・ 家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう。
- ・ 寝室や子供部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。
- ・ 置く場合も、なるべく低い家具にするとともに、倒れた時に出入口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫しましょう。



### 食料・飲料などの備蓄は十分です

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。

防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

◎ 食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例（人数分用意しましょう）

- ・ 飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）
- ・ 非常食 3日分の食糧として、ご飯（アルファ米など）  
ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- ・ 生活必需品 トイレットペーパー、ティッシュペーパー、  
カセットコンロなど



### 非常用持ち出しバッグの準備はできています

自宅が被災した時は、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。

非常時持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

◎ 非常用持ち出しバッグの内容の例（人数分用意しましょう）

- ・ 飲料水、食料品（カップ麺、缶詰、ビスケット、  
チョコレートなど）
- ・ 貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）
- ・ 救急用品（絆創膏、包帯、消毒液、常備薬など）
- ・ ヘルメット、防災頭巾、マスク、軍手
- ・ 懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、携帯電話の充電器



- ・ 衣類、下着、毛布、タオル
  - ・ 洗面用具、使い捨てカイロ、ウェットティッシュ、携帯トイレ
- ※ 乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・哺乳びんなども用意しておきましょう。

## ご家族同士の安否確認方法は決まっていますか？

別々の場所にいる時に災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。災害時には、携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡がとれない場合もあります。その際には以下のサービスを利用しましょう。

### ◎ 災害用伝言ダイヤル

局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。

※ 一般加入電話や公衆電話、一部のIP電話からご利用できます。

※ 携帯電話・PHSからもご利用できます。

### ◎ 災害用伝言版

携帯電話やPHSからインターネットサービスを利用して文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます。



## 避難場所や避難経路は確認していますか？

いざ災害が起きた時に慌てずに避難するためにも、お住いの自治体のホームページや国土交通省ハザードマップポータルサイトなどから防災マップやハザードマップを入手し、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。

また、豪雨、津波、火山噴火など、災害の種類によって安全な避難場所が異なります。それぞれの災害をイメージして、どのように行動すれば安全に避難できるか家族で考えてみましょう。



**災害に準備しすぎることはありません。万が一ではなく、災害はいつか必ず来るものとして、対策を進めましょう！**

